

## 公立鳥取環境大学実験研究棟機器の仕様書

### 1 品名・数量及び規格(参考製品)

品名・規格等	数量	メーカー	備考
原子吸光光度計	1	アジレント・テクノロジー	
<b>【構成】</b> 原子吸光光度計システム フレーム型原子吸光光度計本体 PC/モニタ/インクジェットプリンタ 据付調整及び取扱説明			

### 2 同等品について

同等品に係る質問については、「公立鳥取環境大学実験研究棟機器の購入について(入札にかかる 注意文書)」及び「仕様明細」をよく確認し、必要提出書類を提出すること。

### 3 納入場所 公立鳥取環境大学内の指定する場所 (鳥取市若葉台北一丁目1番1号)

### 4 納入期限 平成30年3月9日(金)まで

### 5 その他

- (1)装置搬入・設置に伴う据付、組立てを行うこと。また、組立等については 本学指定の場所において行うものとし、業務に支障のないよう配慮することとする。
- (2)搬入・設置及び検査に要する費用は受注者が負担すること。
- (3)装置の設置に際しての工程、搬入経路等について本学担当者と十分な打ち合わせのうえ実施すること
- (4)装置の搬入、据付に関しては、必要に応じて養生を行うこと。建物等を破損した場合は速やかに補修すること。
- (5)装置の試運転、調整、操作指導を含むこと。
- (6)装置の納入時に、性能等について記載された社内試験報告書、保証書を各 1 部、操作手順書及び取扱説明書を 2 部提出すること。
- (7)当該物品に関し、迅速なアフターサービス・メンテナンス体制が整備されていること。
- (8)納入時に建物等へ損害を与えた場合は、受注者の負担で原状に復すこと。
- (9)納品に際して発生したゴミ等は、受注者が処理、清掃を行うこと。
- (10)物品の搬入等に際しては、本学の業務に支障をきたさないよう、事前に本学の担当者と協議の上、その指示に従うこと。

## 仕様明細

### 1 フレーム型の原子吸光光度計

- (1) ツェルニターナ分光器であること。
- (2) 測光は分光器がダブルビーム方式であること。
- (3) 測定波長範囲が 185-900 nm で設定できること。
- (4) バックグラウンド補正は重水素ランプのみで、補正範囲は 185-425 nm であること。
- (5) 波長スキャンスピードは 2000 nm/分 以上であること。
- (6) 回折格子は 1200 本/mm 以上であること。
- (7) ホロカソードランプは固定式で 4 本以上装着できること。ランプの切替はミラーによること。
- (8) 一度のサンプル吸引で 2 元素以上の指定した元素を 1 メソッドで測定できること。
- (9) 空気 - アセチレンバーナはスリット 10 cm で汚れにくい構造をしていること。
- (10) バーナ材質はインコロイであること。
- (11) ネブライザーの材質は Pt/Ir 製であること。
- (12) ネブライザーは噴霧流量を 0-8 L/分 の範囲で可変できること。
- (13) ネブライザーの分解洗浄が容易であり、展開図や手順が示されていること。
- (14) 燃焼ガスの供給経路が装置本体に内蔵されていること。
- (15) ガス制御はハンマーコントロールで行うこと。
- (16) 検出器は光電子増倍管であること。

### 2 システム制御およびデータ解析システム

- (1) デスクトップ型で、OS は Windows 7 以上であること。
- (2) CPU は Intel Xenon E3-1225v5 3.30GHz 以上で、HDD は 500 GB 以上、メモリ 8GB 以上が内蔵されていること。
- (3) 制御ソフトウェアは原子吸光光度計を一括制御できること。
- (4) モニタのサイズは 23 インチ以上、解像度は WUXGA (1920×1200) 以上であること。
- (5) A4 サイズが印刷可能なインクジェットカラープリンタを含むこと。